



栗田工業株式会社

2025年3月期 第1四半期 決算説明会

(証券コード：6370)

2024年 8月 8日

執行役常務 経営管理本部長兼CFOの城出秀司です。

2025年3月期第1四半期決算について、説明します。

業績概況



(単位：億円)		2024/3期 1 Q実績	2025/3期 1 Q実績	前年同期比	2025/3期 上期予想	前年同期比
受注高		984	993	+ 0.9%	2,120	+ 13.7%
売上高		905	940	+ 3.8%	1,940	+ 3.0%
事業利益		75	84	+ 12.1%	200	+ 10.7%
その他の収支		7	3	-	△ 5	-
営業利益		81	86	+ 6.2%	195	+ 6.6%
税引前四半期利益		81	87	+ 7.6%	192	+ 5.6%
親会社の所有者に帰属する四半期利益		57	57	+ 0.1%	135	+ 7.2%
基本的1株当たり四半期利益 (円)		50.67	50.74	+ 0.1%	120.13	+ 7.2%
為替レート	USD (円)	137.4	155.9		142.0	
	EUR (円)	149.5	167.9		154.0	
	CNY (円)	19.6	21.5		19.8	

- 前期の第2四半期からアルカデ・エンジニアリング社を新規連結（一般水処理セグメントで計上）。

業績概況

当期は、円安にともなう為替影響が、押し上げ要素となりました。
 為替影響を除くと、受注高、売上高ともに減少しました。
 一方で、事業利益は、オーガニックでも増益となっています。

前期、第2四半期から欧州で電子産業向け水処理装置事業を手掛けるアルカデ・エンジニアリング社の実績を連結しています。
 この第1四半期に関しては、新規連結影響として、受注高・売上高ともに約13億円の押し上げ影響がありました。

セグメント別業績



(単位：億円)		2024/3期 1 Q実績	2025/3期 1 Q実績	前年同期比	2025/3期 上期予想
全社	受注高	984	993	+ 9	2,120
	売上高	905	940	+ 34	1,940
	事業利益	75	84	+ 9	200
	事業利益率	8.2%	8.9%	+ 0.7pp	10.3%
	営業利益	81	86	+ 5	195
電子	受注高	420	374	△ 47	860
	売上高	432	436	+ 4	850
	事業利益	44	47	+ 4	98
	事業利益率	10.1%	10.8%	+ 0.7pp	11.5%
	営業利益	45	48	+ 2	98
一般水処理	受注高	564	619	+ 55	1,260
	売上高	473	504	+ 30	1,090
	事業利益	31	37	+ 6	102
	事業利益率	6.5%	7.3%	+ 0.7pp	9.4%
	営業利益	36	39	+ 3	97

電子

- 受注高の減少は装置受注の減少による。
- 売上高は、継続契約型サービスが増加も、前年同期の国内大型装置案件の売上計上の反動により、為替影響を除くと減収。
- 事業利益は、サービス事業の売上高構成比の向上による原価率改善が、減収影響や販管費増の影響を上回り増益。

一般水処理

- 受注高は、主にメンテナンスの増加により、新規連結影響、為替影響を除いても増加。
- 売上高は、新規連結影響、為替影響を除き減収。海外における薬品事業の売上減による。
- 事業利益は、CSVビジネスの拡大や製品構成の見直し等による原価率改善の効果が、減収影響、販管費増の影響を上回り増益。

セグメント別業績

電子の事業利益は、増益となりました。

継続契約型サービスの増加や、前期の国内大型装置案件の売上計上の反動により、サービス事業の売上高構成比が高まり、原価率改善が進みました。

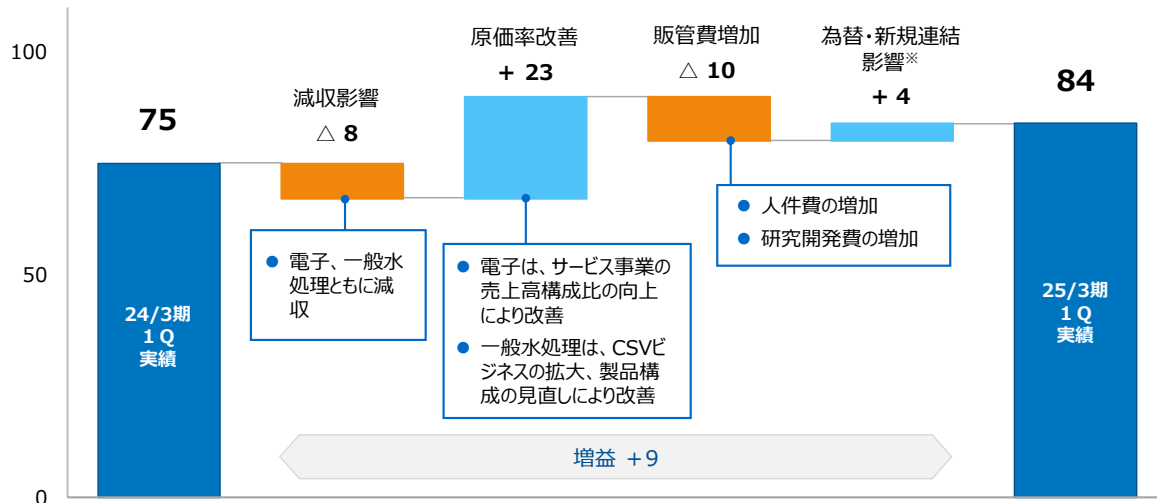
この改善効果が、減収影響や販管費の増加のマイナス影響を上回りました。

一般水処理の事業利益も増益となりました。

CSVビジネスの拡大や薬品における製品構成の見直しなどによる原価率改善効果が、減収影響や販管費の増加の影響を上回りました。

事業利益の増減要因（前年同期比）

(単位：億円)



※ 新規連結影響は、前期の第2四半期からアルカデ・エンジニアリング社を新規連結したことによるもの。

事業利益の増減要因（前年同期比）

為替および新規連結影響を除いたオーガニックで5億円の増益となりました。

減収影響や原価率改善の要因は先ほど説明したとおりです。

販管費は、人件費の増加に加え、イノベーションやDXの推進に伴う費用が増加しました。

(単位：億円)	2024/3期 1Q実績	2025/3期 1Q実績	前年同期比	2025/3期 上期予想
受注高	420	374	△ 47	860
装置	149	64	△ 85	304
継続契約型サービス	113	119	+ 7	239
サービス	159	190	+ 32	317
薬品	25	30	+ 5	55
精密洗浄	56	72	+ 15	136
メンテナンス	77	88	+ 12	126
売上高	432	436	+ 4	850
装置	195	181	△ 14	332
継続契約型サービス	112	119	+ 8	237
サービス	126	136	+ 11	281
薬品	25	29	+ 3	55
精密洗浄	57	70	+ 13	136
メンテナンス	43	37	△ 6	90

- 装置の受注高は、前年同期に複数の大型案件を受注した反動により減少。売上高は、中国で増加も、前年同期の国内大型案件の売上計上の反動で減収。
- 継続契約型サービスは、水供給サービスの増加により増収。
- 精密洗浄事業は、為替影響を除いても増収。
- メンテナンスの受注高・売上高は、案件のタイミングによる増減はあるものの想定線で推移。

売上高増減要因		(億円)
オーガニック増減		△ 19
為替影響		+ 23

電子セグメントの受注高・売上高

受注高は、主に装置で減少しました。

大型案件を複数受注した前年同期と比べると、主に中国と韓国で受注が減少しています。

精密洗浄事業は、為替影響を除いても増加していますが、顧客工場の稼働状況の影響を受ける洗浄ニーズは本格的な回復までは至っておらず、緩やかな増加にとどまっています。

継続契約型サービスは、4月から新たに水供給が開始となった案件の貢献もあり、増加しました。

売上高は、為替影響を除くと、減収となりました。

精密洗浄事業や継続契約型サービスは増加しましたが、装置において前期に売上計上された国内大型案件の反動があったことが、主な要因です。

一般水処理セグメント



(単位：億円)	2024/3期 1 Q実績	2025/3期 1 Q実績	前年同期比	2025/3期 上期予想
受注高	564	619	+ 55	1,260
装置	77	88	+ 11	295
継続契約型サービス	29	32	+ 3	50
サービス	458	500	+ 42	915
薬品	278	290	+ 13	619
メンテナンス	164	179	+ 15	254
その他	17	31	+ 14	43
売上高	473	504	+ 30	1,090
装置	45	63	+ 18	168
継続契約型サービス	22	27	+ 5	53
サービス	406	414	+ 8	868
薬品	277	285	+ 8	617
メンテナンス	112	109	△ 3	212
その他	17	19	+ 3	39

- 装置は、アルカデ・エンジニアリング社の新規連結に加え、北米における官需向け装置案件の獲得および工事進捗により、受注高・売上高ともに増加。
- 継続契約型サービスは、日本、海外ともに伸長。
- 薬品は、為替影響を除くと、受注高・売上高ともに海外で減少も、CSVビジネスは増加。
- メンテナンスの受注高は、主に日本で増加。

売上高増減要因

(億円)

オーガニック増減	△ 9
為替影響	+ 27
新規連結影響	+ 13

一般水処理セグメントの受注高・売上高

受注高は、為替影響を除くオーガニックでも増加しました。

装置が、アルカデ・エンジニアリング社の新規連結に加え、北米における官需向け装置案件の受注の伸長により増加したほか、日本国内でのメンテナンス受注も増加しました。

売上高は、為替影響、新規連結影響を除くと減収となりました。

薬品は、アジアにおける事業環境の変化や、欧州において6月の平均気温が昨年を下回り薬品需要が低下したことなどにより、減収となりましたが、CSVビジネスは、拡大の取り組みの成果もあり各地域で増加しました。

地域別売上高・CSVビジネス売上高



地域別売上高（全社連結）

(単位：億円)	2024/3期 1 Q実績	2025/3期 1 Q実績	前年同期比	2025/3期 上期予想
日本	481	424	△ 57	858
アジア	203	251	+ 48	500
北南米	142	172	+ 30	375
EMEA	80	93	+ 13	207
合計	905	940	+ 34	1,940

地域別売上高（一般水処理セグメント）

(単位：億円)	2024/3期 1 Q実績	2025/3期 1 Q実績	前年同期比	2025/3期 上期予想
日本	236	238	+ 2	486
アジア	54	51	△ 3	120
北南米	106	123	+ 17	278
EMEA	77	91	+ 13	207
合計	473	504	+ 30	1,090

地域別売上高（電子セグメント）

(単位：億円)	2024/3期 1 Q実績	2025/3期 1 Q実績	前年同期比	2025/3期 上期予想
日本	245	186	△ 59	372
アジア	149	199	+ 50	380
北南米	36	49	+ 13	98
EMEA*	3	2	△ 0	-
合計	432	436	+ 4	850

CSVビジネス売上高

(単位：億円)	2024/3期 1 Q実績	2025/3期 1 Q実績	前年同期比	2025/3期 通期予想
全社連結	89	112	+ 23	480
電子	29	33	+ 4	145
一般水処理	60	79	+ 19	335

※ 今期から精密洗浄事業におけるEMEA拠点での売上高実績をEMEAの売上高として計上。なお、上期予想は北南米（98億円）に含まれている。

地域別売上高とCSVビジネスの売上高実績

CSVビジネスの売上高は増加し、通期予想に対しても、ほぼ想定線で推移しています。一般水処理における収益性の改善をけん引していることから、引き続き拡大に向けた各種取り組みを進めます。

設備投資額・減価償却費・研究開発費



(単位：億円)	2024/3期 1 Q実績	2025/3期 1 Q実績	前年同期比	2025/3期 通期予想
設備投資額（有形*）	83	120	+ 36	464
減価償却費（有形*）	69	73	+ 5	315
研究開発費	17	20	+ 3	75

* 使用権資産含む。

- 設備投資額は、水供給事業、精密洗浄事業における設備投資の増加により、前年同期比で増加。
- 減価償却費は、新しい水供給案件の開始等に伴い前年同期比で増加。
- 研究開発費は、イノベーション創出に向けた取り組み強化により増加。

設備投資額、減価償却費、研究開発費は、通期予想に対して、ほぼ想定線で推移しています。

本日の説明は、以上です。



将来見通しに関する注記事項

本資料に掲載されている見通し数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

本資料内で使用している製品・サービス名およびロゴは、当社または他社の商標または登録商標です。